

# 白銅株式会社(7637)

## 2024年3月期第3四半期 決算説明資料

---

2024年2月9日

# 目次

---

1. 2024年3月期第3四半期 決算内容 P 2
2. 2024年3月期 業績予想 P 17
3. 中期経営計画達成に向けた取り組み P 23

# 2024年3月期第3四半期 決算内容

---

# 決算ハイライト

## 売上高

42,930百万円  
(前年同四半期比▲9.4%)

## 売上総利益

6,921百万円  
(前年同四半期比▲12.1%)

## 経常利益

2,201百万円  
(前年同四半期比▲34.7%)

## 2024年3月期第3四半期サマリ

### 売上高

- ・半導体製造装置業界の停滞が継続し、前年同四半期比で9.4%減少。
- ・当連結会計年度より北米売上高3,470百万円が追加され、海外セグメントの売上高は前年同四半期比で3,337百万円増加。

### 売上総利益

- ・売上高減少による減益に加え、棚卸資産影響額の差益が前年同四半期比で394百万円減少した影響などにより、前年同四半期比12.1%減少。

### 経常利益

- ・受取配当金や為替差益などの営業外収益の計上があったものの、運賃や人件費等の各種コスト上昇の影響が大きく、前年同四半期比34.7%減少。

# 連結損益計算書（PL）サマリ

- 売上高は、半導体製造装置業界の停滞継続による販売重量減少の影響が大きく、前年同四半期比△4,448百万円の減収。
- 経常利益は、各種コストの増加や棚卸資産影響額の差益減少により、前年同四半期比△1,168百万円の減益。

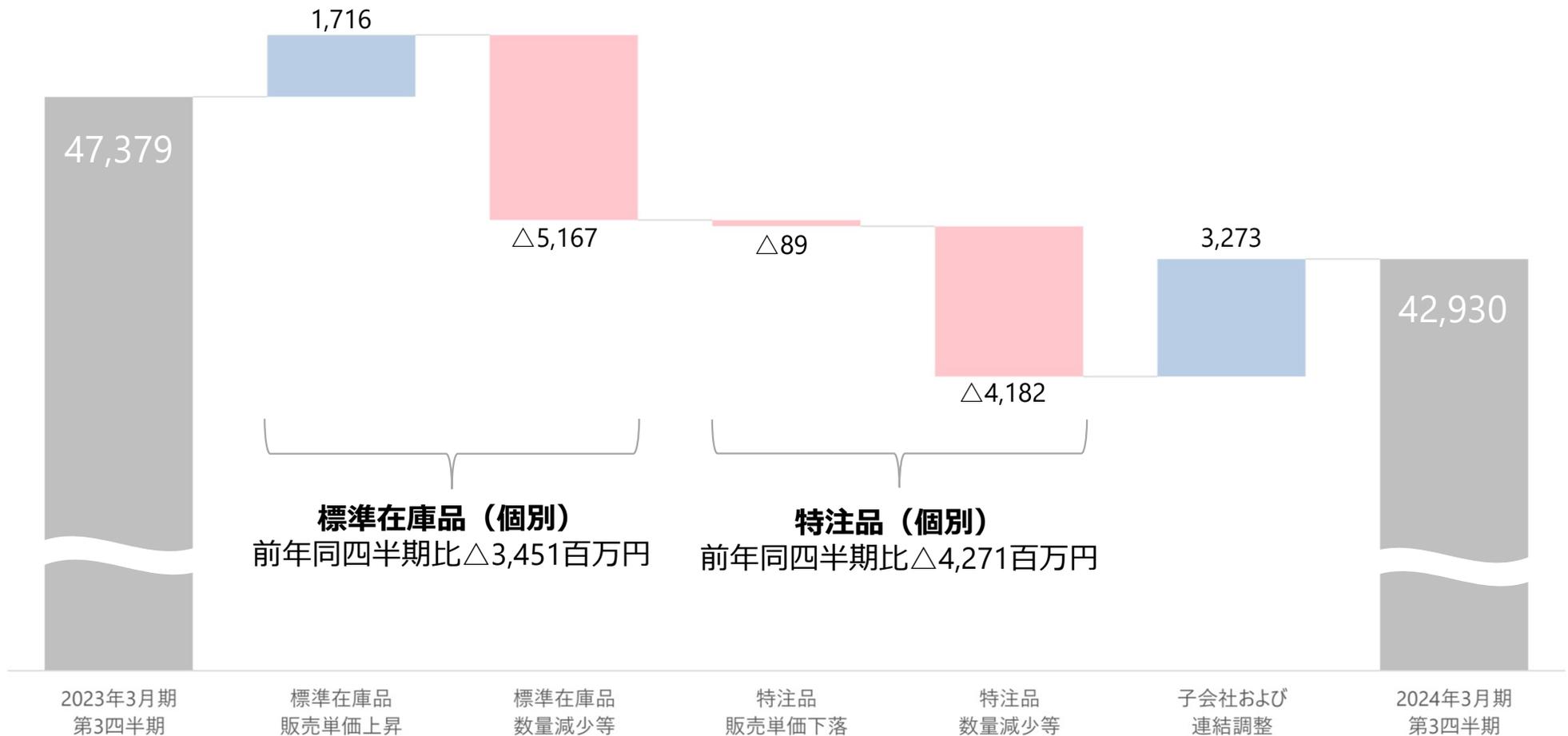
単位：百万円

	2023年3月期 第3四半期	売上高 比率	2024年3月期 第3四半期	売上高 比率	増減率	増減額
売上高	47,379	-	42,930	-	△9.4%	△4,448
標準在庫品	29,306	61.9%	25,806	60.1%	△11.9%	△3,500
特注品	18,072	38.1%	17,123	39.9%	△5.2%	△948
売上総利益	7,874	16.6%	6,921	16.1%	△12.1%	△952
営業利益	3,166	6.7%	1,885	4.4%	△40.4%	△1,280
経常利益	3,369	7.1%	2,201	5.1%	△34.7%	△1,168
棚卸資産影響額 (△は損)	451	1.0%	57	0.1%	△87.3%	△394
為替差損益 (△は損)	32	0.1%	68	0.2%	113.0%	36
経常利益 (棚卸資産・為替影響を除く)	2,885	6.1%	2,075	4.8%	△28.1%	△810
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,289	4.8%	1,512	3.5%	△33.9%	△776

# 売上高の前年同四半期比差異要因

標準在庫品の販売単価は上昇しているものの、販売数量減少の影響が大きく、前年同四半期比4,448百万円の減収。

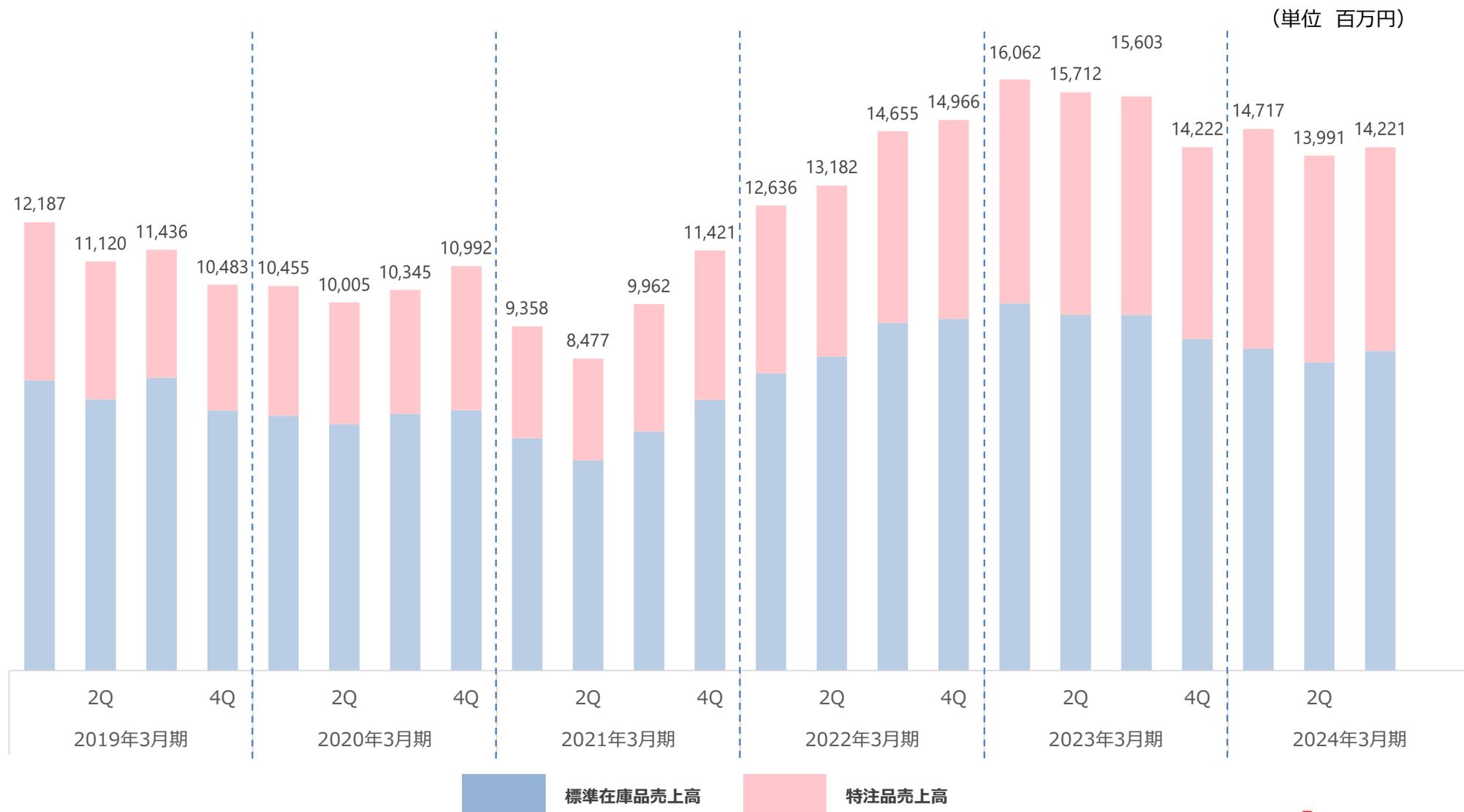
(単位 百万円)



前年同四半期比 白銅個別標準在庫品 販売重量：△17.2% 販売単価：+7.2%

# 売上高の四半期毎推移

当連結会計年度より北米売上高が加わったものの、半導体製造装置業界向けの販売量減少を主因とし、前連結会計年度第1四半期をピークに直近の売上高は減少傾向。



# 品種別売上高

- ステンレスは、北米の売上高が加わったことで、前年第3四半期比で増加。
- 半導体製造装置業界向けの主力商品であるアルミニウムの売上高が、業界の停滞継続により18.2%の減収となっており、連結売上高全体では8.9%の減収。

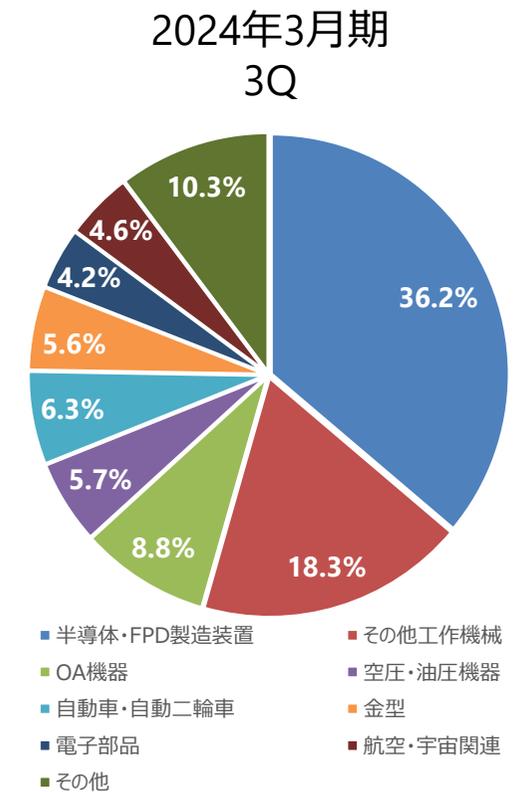
単位：百万円

	2023年 3月期				2024年 3月期			前年 3Q期間比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
連結売上高	16,062	15,712	<b>15,603</b>	14,222	14,717	13,991	<b>14,221</b>	△8.9%
アルミニウム	10,694	10,249	<b>10,076</b>	8,800	9,060	8,339	<b>8,244</b>	△18.2%
伸銅	2,106	2,010	<b>2,134</b>	2,248	2,138	2,024	<b>2,126</b>	△0.4%
ステンレス	2,565	2,607	<b>2,632</b>	2,414	2,830	2,971	<b>3,074</b>	16.8%
その他	696	844	<b>761</b>	759	687	655	<b>774</b>	1.7%

# 業界別売上高構成比率（国内）

- 半導体・FPD製造装置向けの売上高構成比率が前年第3四半期比で大きく減少。
- 一方で、成長領域に位置付けている航空・宇宙関連、自動車（自動二輪）業界においては売上高と売上比率のいずれも増加。

	2023年3月期				2024年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
半導体・FPD製造装置	47.2%	45.0%	43.0%	37.5%	39.3%	38.5%	36.2%
その他工作機械	15.0%	15.4%	15.5%	17.3%	17.7%	17.7%	18.3%
OA機器	8.6%	7.8%	8.6%	9.9%	8.9%	9.0%	8.8%
空圧・油圧機器	6.5%	6.9%	7.8%	7.4%	7.1%	5.5%	5.7%
自動車（自動二輪）	4.3%	4.9%	4.9%	4.9%	4.7%	5.9%	6.3%
金型	4.1%	4.7%	5.2%	5.6%	4.8%	5.5%	5.6%
電子部品	3.7%	4.1%	4.0%	4.3%	4.1%	4.3%	4.2%
航空・宇宙関連	3.1%	2.9%	3.1%	3.7%	4.4%	3.8%	4.6%
その他	7.6%	8.3%	7.8%	9.3%	9.0%	9.6%	10.3%



# セグメント別業績

- 昨年取得したWest Coast Aluminum & Stainless, LLCの売上高を北米に計上しており、海外売上高の増加に寄与。PMI費用や業績の一時的な低迷等により営業損失を計上も、今後回復する見通し。円建親子間借入金の為替差益や免除益の発生などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円となった。
- 中国では、内需向け・外需向けともに需要が低迷し、12百万円の経常損失となった。

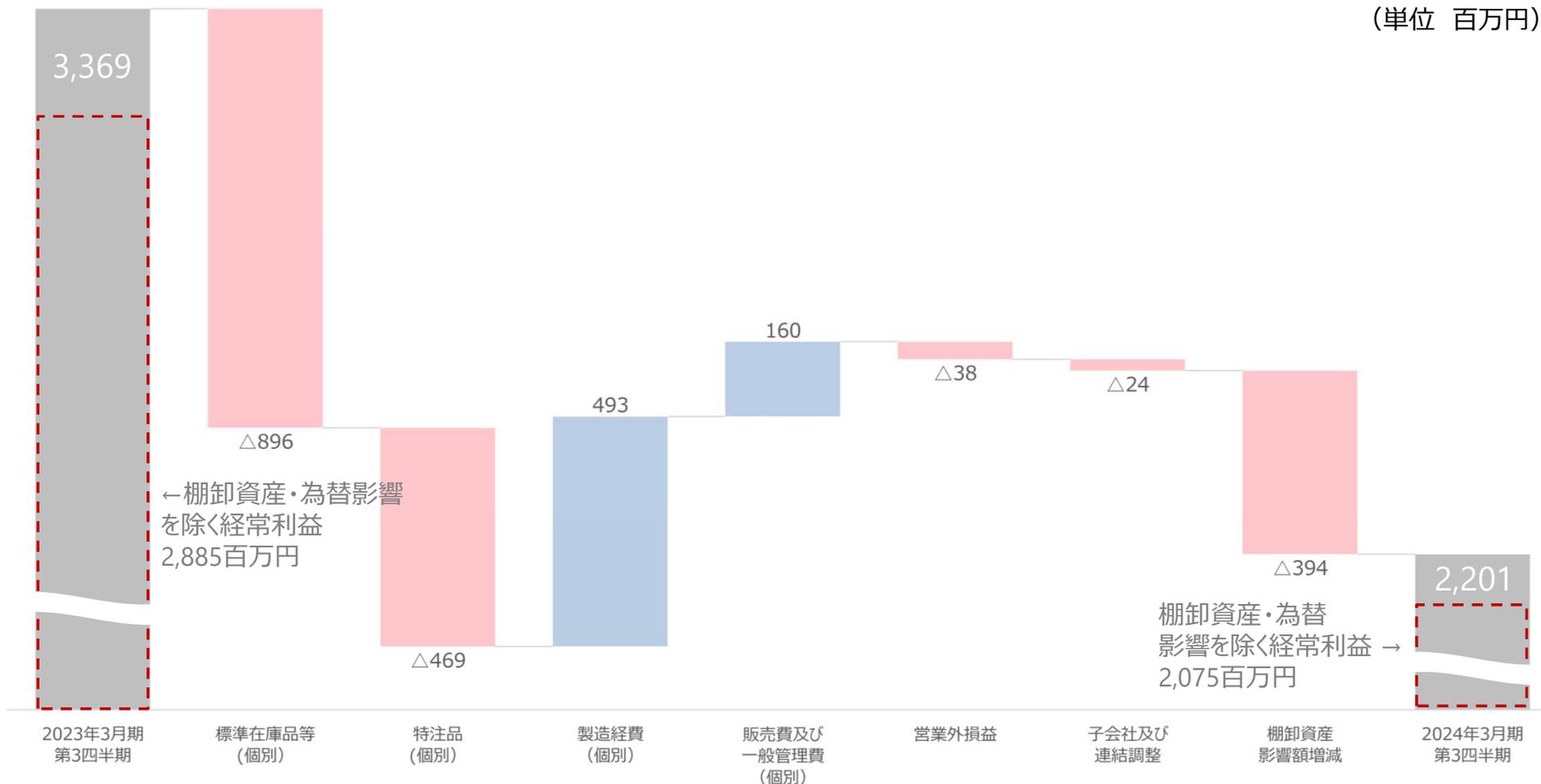
単位：百万円

	2023年 3月期第3四半期				2024年 3月期第3四半期			
	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 又は 四半期純損失	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 又は 四半期純損失
日本	45,268	3,071	3,254	2,198	37,482	1,917	2,068	1,398
北米	-	-	-	-	3,470	△108	34	34
中国	1,214	7	26	19	965	△32	△12	△9
その他	896	88	88	71	1,012	110	111	88

# 経常利益の前年同四半期比差異要因

- 標準在庫品・特注品ともに販売重量の落ち込みによる影響で大きく減少。
- また、運賃や電気料金をはじめとする販売重量あたりの各種コストの上昇や、棚卸資産影響額の差益減少などにより、前年同四半期比1,168百万円の減益。

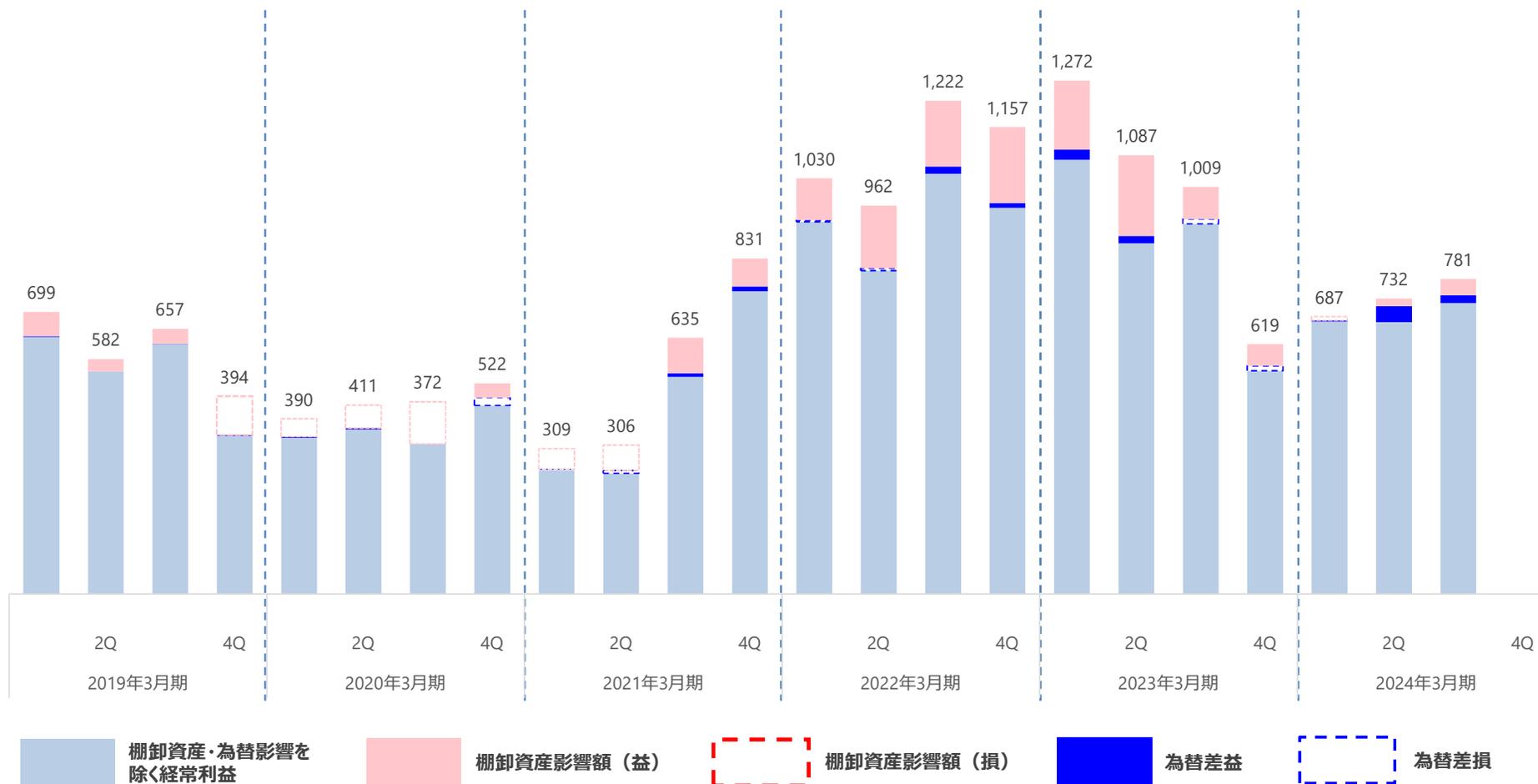
(単位 百万円)



# 経常利益の四半期毎推移

- 半導体製造装置業界の停滞継続に伴う販売重量減少により、前年第3四半期比で228百万円の減益。
- 棚卸資産影響額の差益や為替差益発生により、前四半期対比では49百万円の増益。

単位：百万円



# 貸借対照表 (BS)

- 売上高の減少により、棚卸資産・売掛金・買掛金が大きく減少。
- 設備投資や法人税等の支払、配当金支払により現金及び預金が783百万円減少。

単位：百万円

資産の部	2023年3月末	構成比率	2023年12月末	構成比率	増減
流動資産	33,829	78.4%	30,377	75.7%	△3,452
現金及び預金	6,038	14.0%	5,254	13.1%	△783
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	16,835	39.0%	15,598	38.9%	△1,236
棚卸資産	10,631	24.6%	9,316	23.2%	△1,315
その他流動資産	324	0.8%	207	0.5%	△116
固定資産	9,319	21.6%	9,743	24.3%	+423
有形固定資産	6,250	14.5%	6,516	16.2%	+266
無形固定資産	1,413	3.3%	1,480	3.7%	+66
投資その他の資産	1,655	3.8%	1,746	4.4%	+90
資産合計	43,149	100.0%	40,120	100.0%	△3,028
負債及び純資産の部	2023年3月末	構成比率	2023年12月末	構成比率	増減
流動負債	21,768	50.4%	18,030	44.9%	△3,738
支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	19,020	44.1%	15,884	39.6%	△3,135
未払金・未払費用	860	2.0%	779	1.9%	△80
未払法人税等	579	1.3%	99	0.2%	△479
その他流動負債	1,308	3.0%	1,266	3.2%	△41
固定負債	151	0.4%	133	0.3%	△17
負債合計	21,920	50.8%	18,164	45.3%	△3,756
純資産	21,229	49.2%	21,956	54.7%	+727
負債純資産合計	43,149	100.0%	40,120	100.0%	△3,028

## 流動資産 △3,452百万円

- WCAS社持分取得、配当金増加による現預金減少
- 売上高の減少による棚卸資産および売掛金の減少

## 固定資産 +423百万円

- 機械装置購入に伴う有形固定資産増加
- ベトナム関連会社Oristar Corporationの株式配当金による株式取得など、有価証券増加に伴う投資その他の資産増加

## 流動負債 △3,738百万円

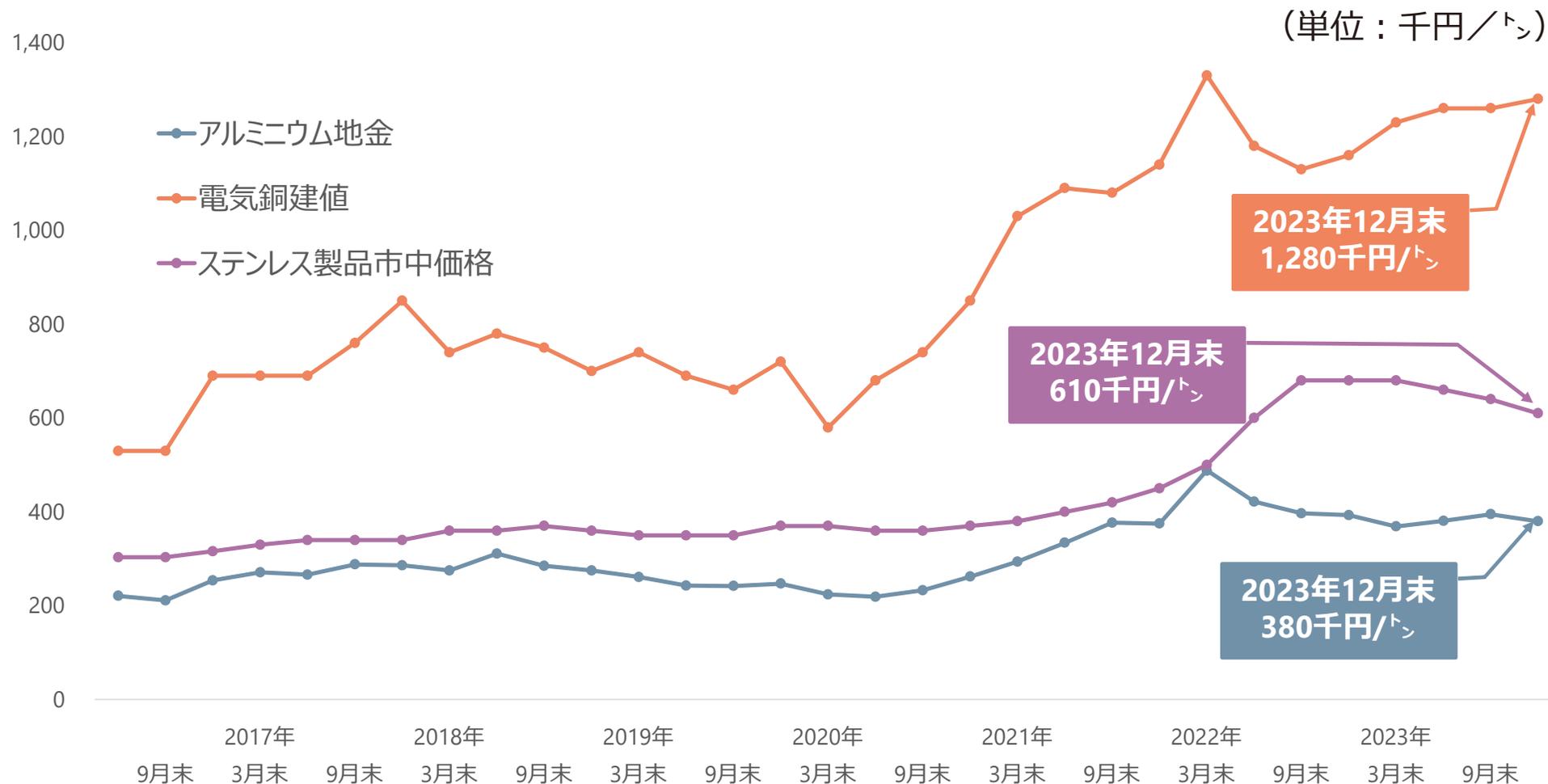
- 売上高減少に伴う支払手形及び買掛金の減少

## 固定負債 △17百万円

## 純資産 +727百万円

# 事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

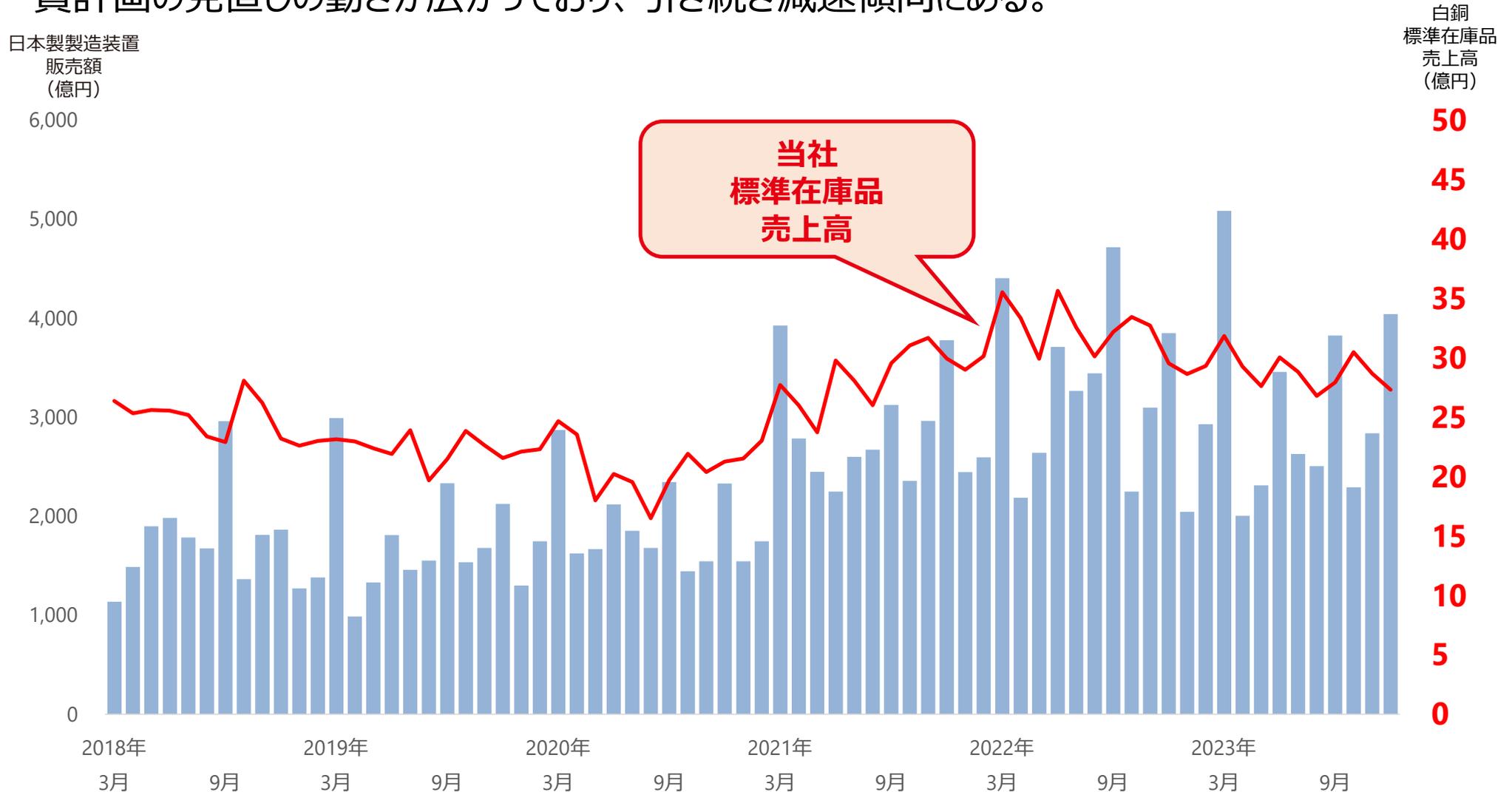
アルミニウムの原材料価格は2022年3月以降下落傾向であったが、直近は回復傾向にある。



電気銅建値：JX金属による算出      ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値  
 アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

## 事業環境（2）半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

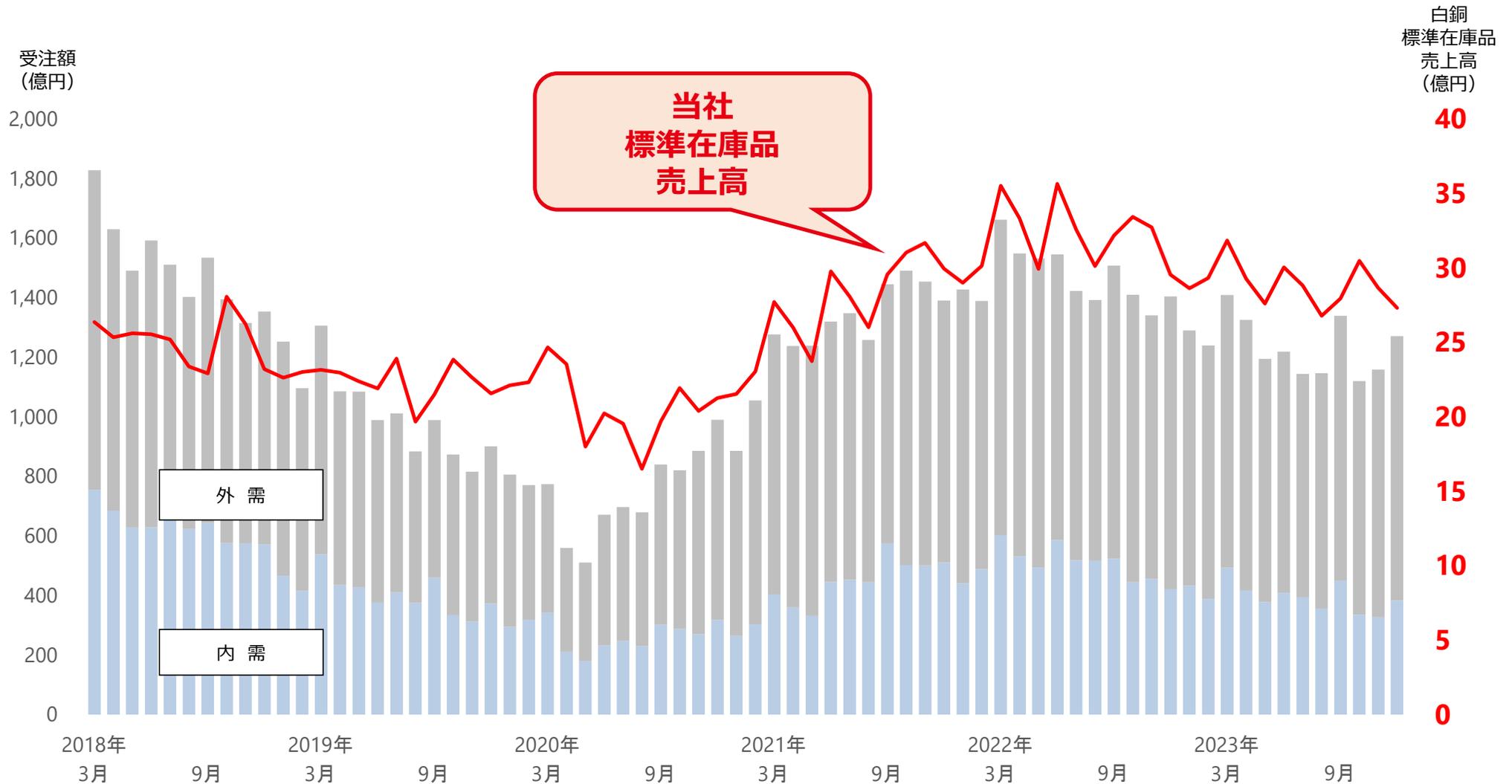
長期的にはIoTやDX、生成AI、電気自動車の推進などによる需要拡大が予想されているものの、生成AI関連の半導体を除き、半導体メーカーの在庫調整、生産調整による設備投資計画の見直しの動きが広がっており、引き続き減速傾向にある。



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

# 事業環境 (3) 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

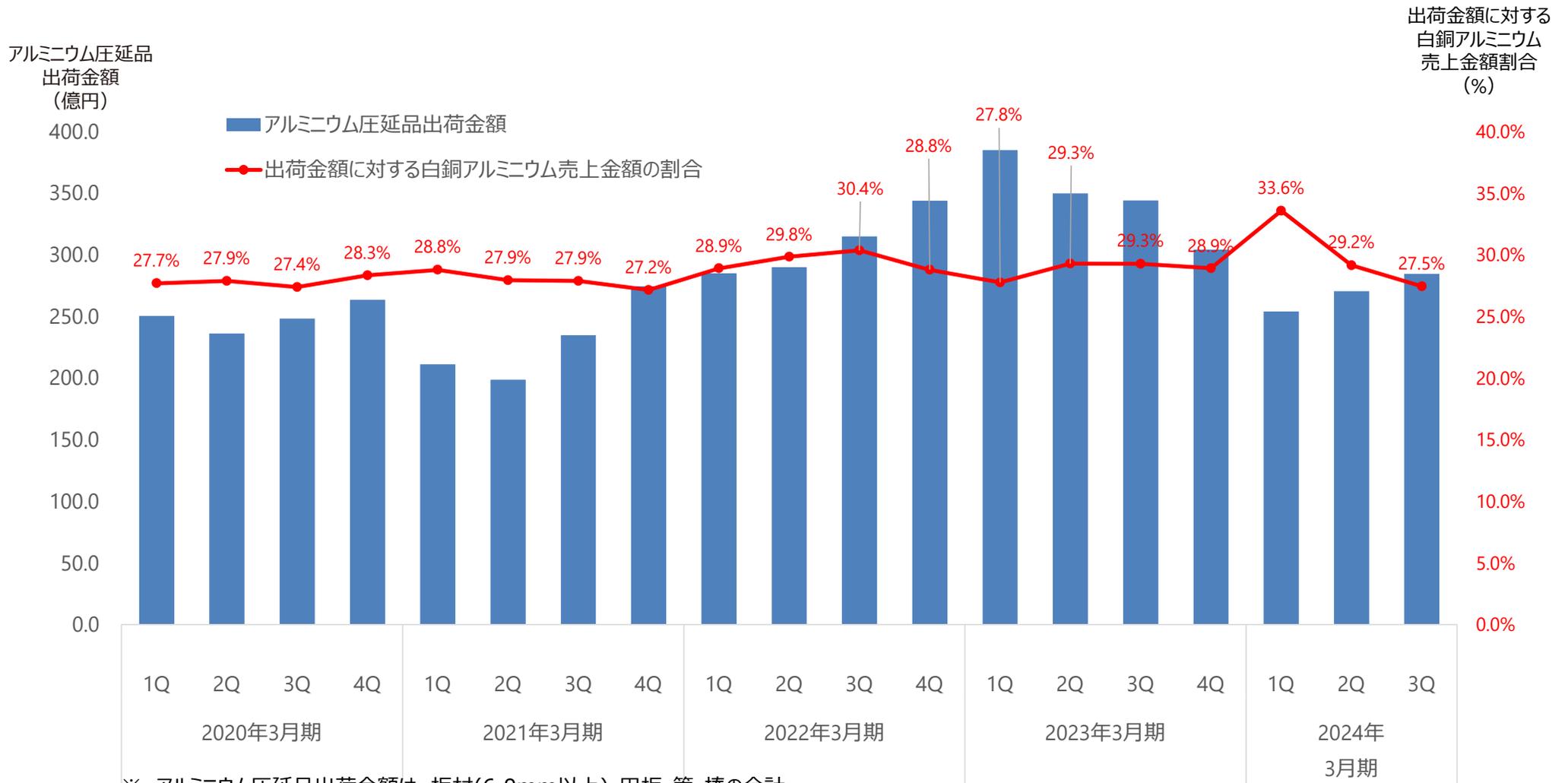
- 工作機械受注額は2022年3月をピークに下落の動きが継続。
- 前年同四半期(10~12月)比で内需は20.9%、外需は11.6%受注額が減少。



出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

# 事業環境 (4) アルミ圧延品出荷金額と出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上割合

アルミ圧延品出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上は30%前後で推移し、当社業界シェアはほぼ横ばい。



※ アルミニウム圧延品出荷金額は、板材(6.0mm以上)・円板・管・棒の合計

出典：一般社団法人 アルミニウム協会 アルミニウム圧延品統計月報より

# 2024年3月期 業績予想

---

# 2024年3月期 通期業績予想の下方修正

- 2024年3月期下半期以降に見込んでいた半導体需要の回復が、想定より遅れており、今年度中は需要停滞が継続すると判断し、2024年3月期通期予想を下方修正。
- 売上高は6,800百万円減少(△10.8%)の56,400百万円、経常利益は560百万円減少(△17.6%)の2,620百万円となる見通し。

(百万円)	2023年3月期 第3四半期実績	2024年3月期 第3四半期実績	増減額	2024年3月期 通期 期初予想	2024年3月期 通期 修正予想	増減額
売上高	47,379	42,930	△4,448	<b>63,200</b>	<b>56,400</b>	△6,800
営業利益	3,166	1,885	△1,280	<b>2,970</b>	<b>2,320</b>	△650
経常利益	3,369	2,201	△1,168	<b>3,180</b>	<b>2,620</b>	△560
棚卸資産影響額 (△は損)	451	57	△394	-	<b>62</b>	+62
経常利益 (棚卸資産影響額を除く)	2,917	2,144	△773	<b>3,180</b>	<b>2,558</b>	△622
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,289	1,512	△776	<b>2,150</b>	<b>1,760</b>	△390

※2024年3月期期初予想値は、第1四半期連結累計期間までの棚卸資産影響額を見込んでおります  
1USD=135円、1CNY=19.69円、1THB=3.67円で算出（2023年5月発表時点）

# 2024年3月期 中期経営計画の目標に対する達成状況

- 2024年3月期は業績の下方修正もあり、中期経営計画（2年目）の目標値に対し未達成の見込み。
- 2025年3月期は、各施策による販売増加や業務改善による経費削減、および、IoTやDX、生成AI、電気自動車関連の半導体需要が下期以降に徐々に回復するものと予想。
- ただし、半導体需要の回復が想定より遅れていることや、人件費などのコストアップが見込まれるため、中期経営計画最終年度（2025年3月期）の達成見込みは精査中。

(百万円)	2024年3月期 第3四半期実績	2024年3月期 通期 期初予想	2024年3月期 通期 修正予想	中期経営計画 2024年3月期 目標値	中期経営計画 2025年3月期 目標値
売上高	42,930	63,200	56,400	66,800	71,800
営業利益	1,885	2,970	2,320	-	-
経常利益	2,201	3,180	2,620	4,500	5,400
棚卸資産影響額 (△は損)	57	-	62	-	-
経常利益 (棚卸資産影響額を除く)	2,144	3,180	2,558	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,512	2,150	1,760	-	-

# 株主還元策（配当方針の変更）

- 財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針としており、株主還元策を強化すべく、配当方針を変更。

## 配当性向（通期）

現状  
**40%以上**

変更後

**45%以上**

## 年間最低配当額（新設）

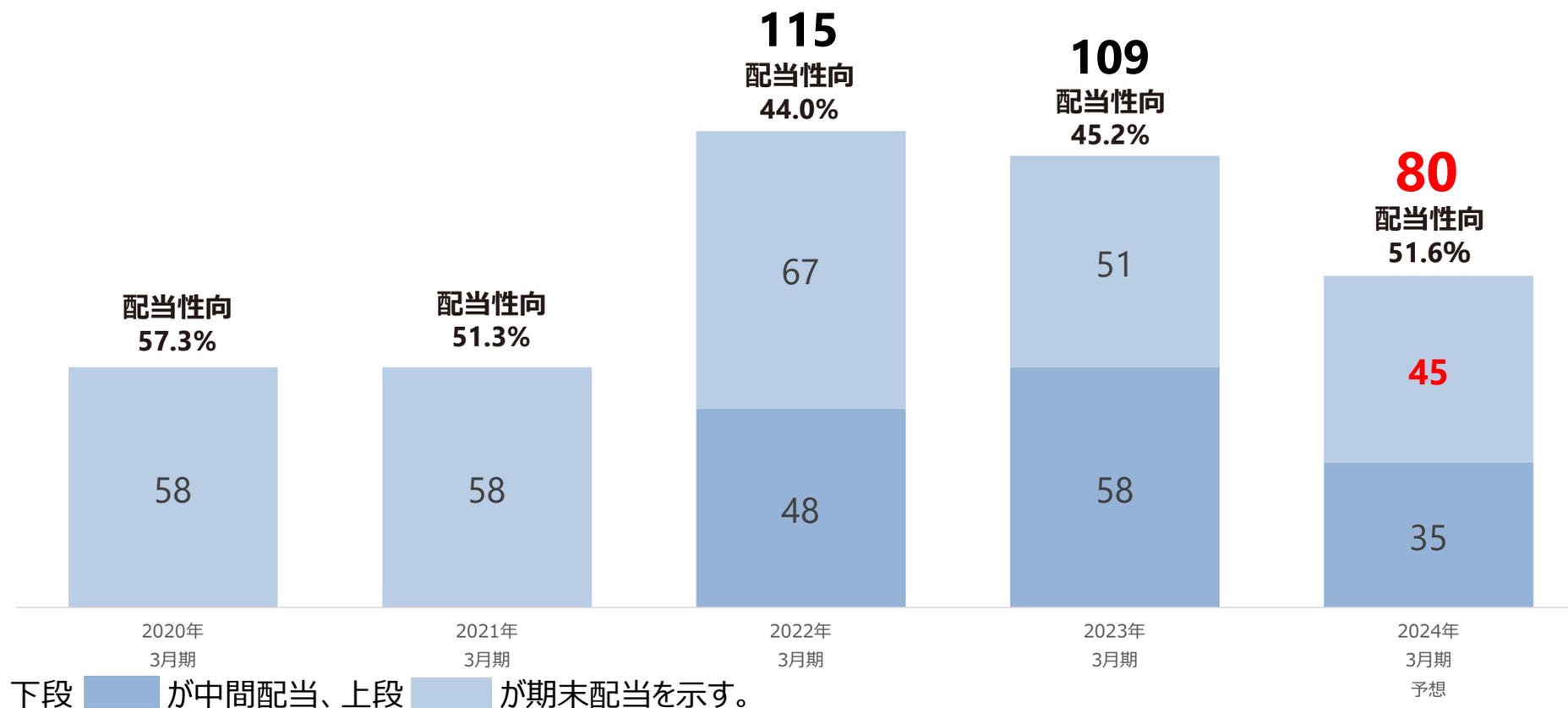
**80円**

**原則、いずれか高い金額を配当額とする。**

# 株主還元策（配当）

- 変更後の配当方針に則り、配当金額を算出。
- その結果、年間最低配当額80円を適用し、期末配当は1株当たり2円増配の45円となる予想。
- 年間配当は期初予想よりも1株当たり3円増配の80円となる予想。

## 2024年3月期 配当予想



※2022年3月期は記念配当9円を含む金額

# 株主還元策（株主優待制度）

- 2024年1月17日より、基準日を毎年9月末から毎年3月末に変更。
- 保有単元数や付与されるポイントなどの基準日以外の変更はない。

## 株主優待制度

毎年3月末の当社株主名簿に記載又は記録された3単元(300株)以上保有の株主様を対象とし、保有株式数に応じてポイントを贈呈いたします。贈呈されたポイントは、株主様限定の特設ウェブサイト「白銅プレミアム優待倶楽部」において、4,000点以上の厳選された商品からお好きな商品、他のプレミアム優待倶楽部導入企業の優待ポイントと合算可能な共通株主優待コイン『WILL s Coin』に交換することができます。

株主優待ポイント表（1ポイント≒1円）

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株未満	0ポイント	—
300～399株	3,000ポイント	毎年5月
400～499株	5,000ポイント	
500～599株	10,000ポイント	
600～999株	20,000ポイント	
1,000～1,999株	30,000ポイント	
2,000～2,999株	40,000ポイント	
3,000株以上	50,000ポイント	

商品の一例



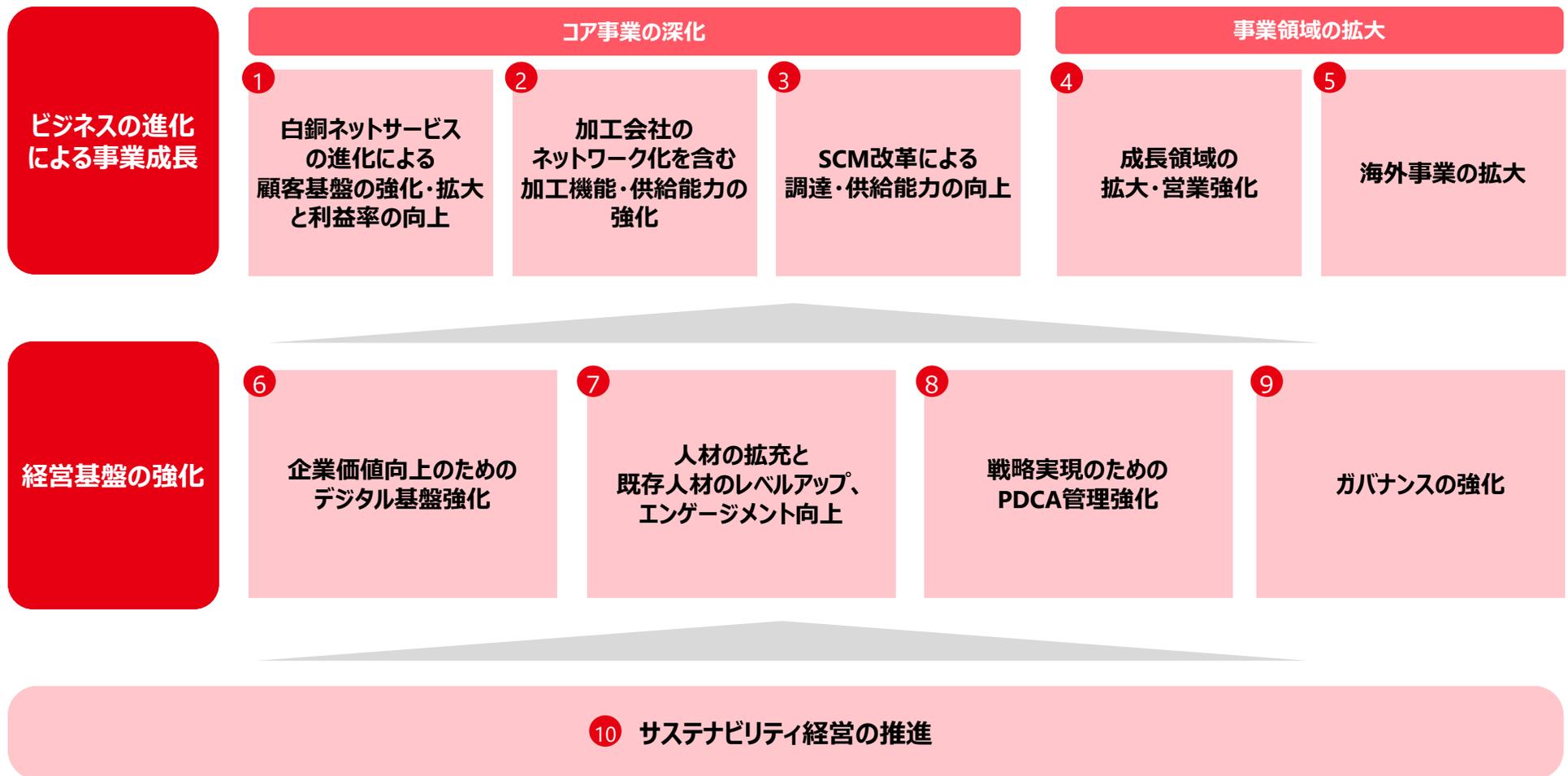
# 中期経営計画達成に向けた取り組み (2023年3月期～2025年3月期)

---

# 中期経営計画の重点戦略方針

ダントツ戦略をベースに、2025年3月期までにビジネス進化と経営基盤の強化及びサステナビリティ経営の推進を図る。

## 経営課題と重点戦略方針



\*詳細は2022年5月26日開示の「中期経営計画」をご参照ください

# 重点戦略の実施状況 (1)

## (1) 白銅ネットサービスの進化による顧客基盤の強化・拡大と利益率の向上

当社標準在庫品  
約**5,400**アイテム  
+  
他社在庫品(取寄せ)  
約**78,700**アイテム  
※2023年12月末時点

ご利用企業様数  
約**11,700**社様  
ご登録ユーザー様数  
約**23,500**名様  
※CSネットサービスの登録件数を含む  
※2023年12月末時点

2023年7月より  
オープンサイト化  
ログインなしでの  
価格見積が可能に

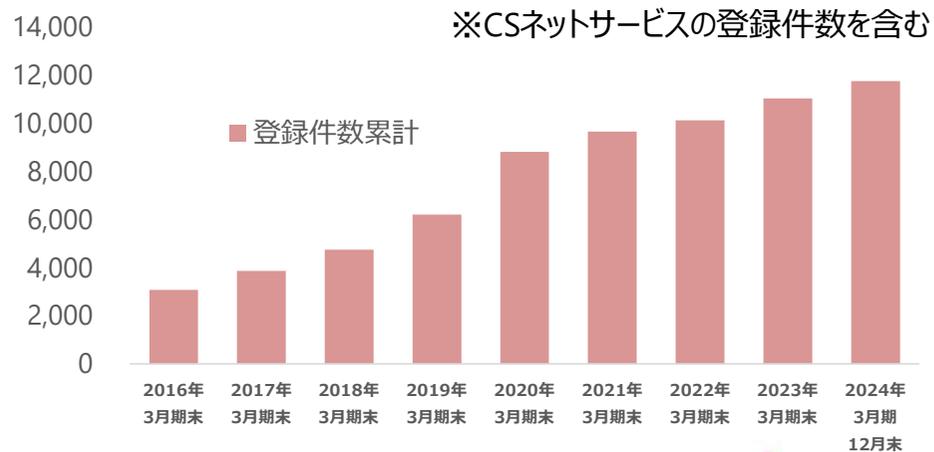
便利な新機能追加  
「金属3Dプリンター造形  
見積・注文」  
「図面描画」  
「材料取りアシスト」




【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービス ご利用登録社数推移 (累計)】



# 重点戦略の実施状況 (2)

## (2) 成長領域の拡大



### 専門部署による業界の集約

半導体関連の販売先を専門部署に集約し、業界ナレッジを蓄積する仕組みを構築



### 新規顧客獲得

金属3Dプリンターを契機に自動車関連の新規顧客を獲得し、他商材の拡販も展開

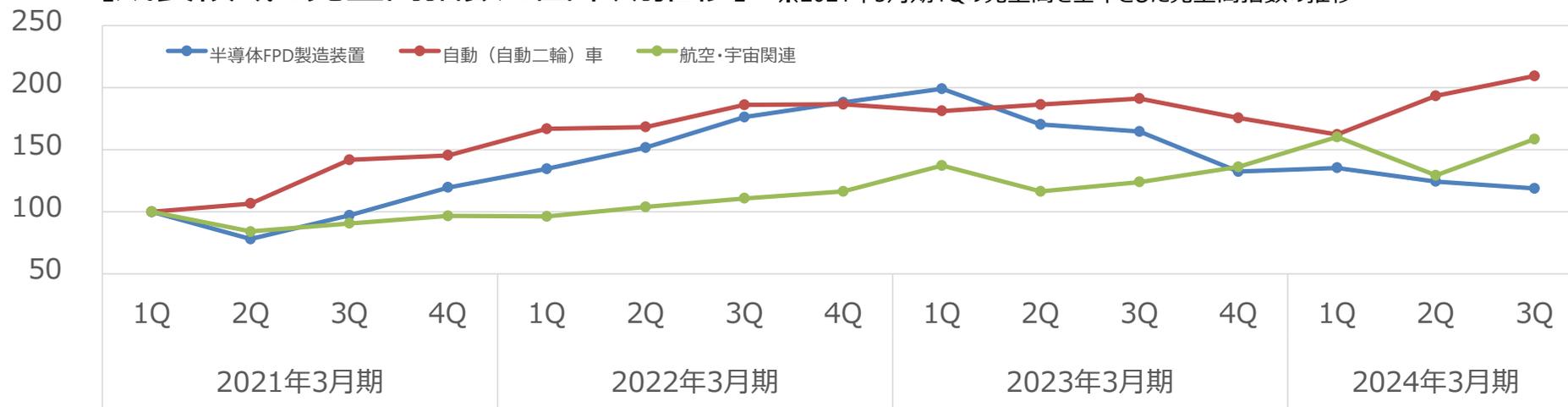


### 伊賀倉庫（三重県伊賀市）新設

ウォータージェット切断機・マシニング加工機・ワイヤーカット機などの加工設備を集約

【成長領域の売上高指数の四半期推移】

※2021年3月期1Qの売上高を基準とした売上高指数の推移



# 重点戦略の実施状況 (3)

## (3) 海外事業の拡大

- 2023年3月に当社の100%子会社であるHakudo USA Inc.が米国カリフォルニア州「West Coast Aluminum & Stainless, LLC」の51%持分取得を行い子会社化し、100日間のPMI（事業統合）のフェーズが終了し、事業拡大のフェーズに入った。
- 第3四半期終了時点での海外売上高比率では、中期経営計画3年目（2025年3月期）の目標値である白銅グループ海外売上高比率12%を前倒しで達成見込。

### 活動状況

#### ◆ 販売品目の拡大

タイを中心に海外子会社でのEコマース事業の拡大を実施中。

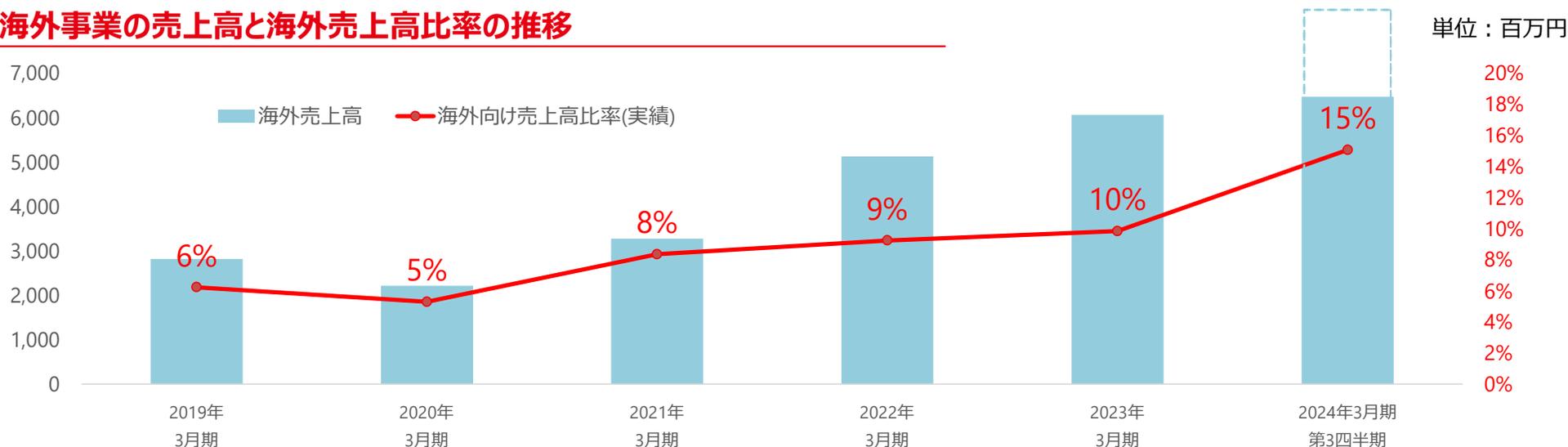
東南アジアでは、ベトナムを中心に販売代理店パートナー経由の売上高拡大を目指す。

米国子会社での非鉄金属の輸入卸売・加工事業の拡大を準備中。またEコマース事業を開始予定。

#### ◆ 出資・提携先の検討

米国・韓国・台湾を中心に、更なる投資先の検討及び訪問、協議を実施中。

### 海外事業の売上高と海外売上高比率の推移



※海外売上高は海外子会社売上高と海外子会社以外への本社輸出売上高の合計金額で算出

# サステナビリティ経営の取組状況（1/3）



- ESG/SDGs経営委員会の下に設置した分科会の活動項目や目標に対して、現状までの取組み状況を下表に記載。取組み状況などを取締役会に報告し、提言や助言を踏まえて活動中。
- 環境に配慮したECO商品のラインナップ拡充や拡販などにより販売が増大。ECO商品の売上高の一部を寄付することで社員の社会貢献意識も向上。

マテリアリティ	取組テーマ	2025年3月期までの活動目標	2025年3月期までのKPI ※1	2024年3月期第3四半期までの取組状況
1. 環境負荷軽減・気候変動対応	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	2020年度比で①2030年度までに42%削減、②2050年度までにカーボンニュートラル達成に向け、具体的な削減策に着手する	● CO <sub>2</sub> 排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 滋賀工場への太陽光パネル設置工事開始</li> <li>✓ FIT非化石証書の購入</li> <li>✓ CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）の開示対応</li> <li>✓ 社用車における電気自動車の導入</li> </ul>
	製造効率の改善	配送効率改善・産業廃棄物削減・スクラップ率低下などにより、天然資源の節約・枯渇抑制、環境汚染抑制による社会貢献を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費電力量</li> <li>● 運賃通減率</li> <li>● 廃棄物金額</li> <li>● 製造部門消耗品費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 配送網の再構築による効率化など配送効率改善活動を実施</li> <li>✓ 設備の待機電力削減</li> <li>✓ 切削油リサイクルの施策を継続実施</li> </ul>
2. 責任あるサプライチェーンの構築	環境配慮製品の強化	環境負荷の少ない商品（ECO商品等）を安定供給することで、環境負荷に配慮した経営を行うことで社会貢献を行う	● ECO商品販売重量	✓ ECO商品拡販とECO商品ラインナップ拡充
	グリーン調達の促進	白銅独自のグリーン調達ガイドラインを、サプライヤーに遵守協力頂くことで、環境負荷に配慮した経営を行うことで社会貢献を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーン調達ガイドラインの遵守先との覚書取交件数</li> <li>● グリーン調達率</li> </ul>	✓ 各取引先との覚書の取り交わし実施
	サプライヤーとの関係強化	サプライヤーと協力し、CO <sub>2</sub> 削減に配慮した施策を行うことで、サプライチェーン全体におけるCO <sub>2</sub> 削減を促進することで社会貢献を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーンアルミ調達先発掘</li> <li>● リサイクルアルミ調達先発掘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ CO<sub>2</sub>排出を抑えた電力を使用した原材料を基に製造された商品の導入準備</li> <li>✓ CO<sub>2</sub>排出を抑えた“ECO63S四角棒”の販売開始</li> </ul>
	人権の尊重	サプライチェーン上のパートナーと協力し人権に配慮した経営を促進する活動を行うことで社会貢献する	● 自社における人権ポリシーの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人権デューデリジェンスへの取組み開始</li> <li>✓ 白銅グループ人権方針の制定</li> <li>✓ 全従業員への教育実施</li> </ul>

※1 2023年3月期～2025年3月期の3か年間の社内におけるKPI  
2024 © Hakudo Co., Ltd. All rights reserved.

# サステナビリティ経営の取組状況 (2/3)



マテリアリティ	取組テーマ	2025年3月期までの活動目標	2025年3月期までのKPI ※1	2024年3月期第3四半期までの取組状況
3. 社会への取り組み	次世代への貢献	日本のものづくりの発展や人材育成を支援することで、次世代の技術の発展や人材育成に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産学協働検討案件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大学の研究室に訪問。協働可能な新規案件を模索</li> </ul>
	社会への貢献	持続可能な社会への貢献を行うことで、従業員が誇りを持ち、社会から信頼される企業になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会、団体への貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 寄付型自動販売機の社内への設置拡充</li> <li>✓ 社内の書籍を収集し古本募金を実施</li> </ul>
4. 人材への投資	従業員満足度向上	従業員満足度の向上により、従業員各自の生産性や顧客対応へのモチベーションを高め、社会に与える影響力（社会貢献）、会社の業績に与える影響力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 離職率</li> <li>● 有給取得率</li> <li>● 男性の育休取得率</li> <li>● 重大なヒヤリハット件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子育て、介護が原因で退職される従業員の防止策の検討</li> <li>✓ 福利厚生充実と従業員への浸透活動</li> <li>✓ スポーツクラブ利用促進のためのサポート実施</li> <li>✓ 職場巡視によるヒヤリハットの未然防止</li> </ul>
	ダイバーシティの促進	多様な人材を登用、活用することで組織の生産性や競争力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性従業員比率</li> <li>● 女性管理職比率</li> <li>● 外国籍管理職比率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 女性管理職研修及び女性管理職育成研修の実施検討</li> <li>✓ 処遇面における公正性、透明性の確保</li> <li>✓ 成果を出した従業員が、さらに挑戦できるように適切かつ公平な仕組みの検討</li> </ul>
	社員教育の拡充	業務上で必要な知識・スキルの提供。また知識やスキルを身に着ける為の機会を提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人当たり教育費用</li> <li>● 研修受講比率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人事評価の改訂案の決定</li> </ul>

※1 2023年3月期～2025年3月期の3か年間の社内におけるKPI

# サステナビリティ経営の取組状況 (3/3)



マテリアリティ	取組テーマ	2025年3月期までの活動目標	2025年3月期までのKPI ※1	2024年3月期第3四半期までの取組状況
5. コーポレートガバナンス	違反者ゼロ	ゼロ・トーランスを目指し、教育を実施する	● コンプライアンス違反件数ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コンプライアンス研修の実施</li> <li>✓ コンプライアンスにおける理解度チェックの実施</li> </ul>
	ポリシー遵守状況確認	各ポリシーの遵守 ※現状のポリシー及び基本方針は以下の通り ・プライバシーポリシー ・コーポレートガバナンス基本方針 ・サステナビリティ基本方針 ・ディスクロージャー基本方針 ・社内環境整備方針	● 左記ポリシー、方針の対応状況確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コンプライアンス教育の実施</li> <li>✓ 情報セキュリティ教育の実施</li> <li>✓ 教育動画を配信し、全従業員の遵守度向上を推進</li> </ul>
	事業リスク・災害への対応強化	事業リスク評価とBCP見直しを徹底。また、災害が発生しても訓練・対策実施により、従業員の安全確保と円滑に業務を再開する仕組みを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク評価ポイント</li> <li>● 防災訓練等の実施数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ リスク評価ポイントの見直し</li> <li>✓ 全社一斉の安否確認訓練実施</li> <li>✓ 防災訓練実施</li> </ul>
6. ESG/SDGs 経営委員会の社内浸透活動	社内浸透活動の推進	ESG/SDGsに関する啓蒙活動、イベントを行うことで、会社としてESG/SDGsに対する意識向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESG/SDGsの従業員定着率(アンケートで調査予定)</li> <li>● エピソードコンテストの累計件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サンクスカードを導入し、従業員同士のコミュニケーションを推進</li> <li>✓ ESG/SDGs関連のポスター・書籍・動画の配布・配信</li> <li>✓ SDGsを絡めたビジネスプランの検討</li> </ul>
7. ESG/SDGsに関連した新商品・新サービスの創出	商品・サービスの具現化	新商品・新サービスの創出	● 新商品・新サービスの導入件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ CO<sub>2</sub>オフセット関連の商品・サービスを検討中</li> </ul>

※1 2023年3月期～2025年3月期の3か年間の社内におけるKPI

# サステナビリティ経営の取り組み例

白銅は、モノづくりを通じた社会への貢献に加えて、自社農園による雇用創出など幅広い活動を行っています。

## 白銅ファーム



白銅は障がい者就労促進の一環として白銅ファームを運営しています。神奈川県横浜市と埼玉県三郷市に拠点を設け、2024年1月現在、12名の従業員が在籍しており、葉物野菜をメインに約30種類を栽培しています。

収穫した野菜は、子ども食堂への寄付や当社従業員に配布しています。

※ 2024年1月末時点の情報を元に作成

## スーパーミニマム チャレンジ



スーパーミニマムチャレンジとは、50ccエンジンによる最速記録に挑戦するプロジェクトです。米国ユタ州のボンネビルで毎年開催されています。

バイクには白銅が提供したアルミ材も使用された2019年大会では世界最速記録を更新しました。

最近では、3Dプリンター造形部品も使用されています。

## コマ大戦



コマ大戦とは、全国の製造業者が本気で制作したコマを持ち寄って戦うトーナメント式の大会です。各県で高校生コマ大会も開催されています。

神奈川県高校生コマ大戦には白銅が材料を支給して協賛するなど、日本のモノづくりの発展のための活動を行っています。

## 下町ボブスレー



下町ボブスレーは、大田区の小さな町工場が中心となり、世界トップレベルのソリを作り、産業のまち大田区の「モノづくりの力」を世界に発信するプロジェクトです。

下町ボブスレーの材料は白銅が無償提供しており、製作されたボブスレーは2023年1月の世界選手権で19位の成績を残しました。

(写真提供：国際ボブスレー連盟IBSF)

# ご清聴ありがとうございました

## ■ 白銅公式SNSアカウントについて

弊社では、LINE、Facebookの公式アカウントを開設し、商品紹介や展示会の出展案内などのお役立ち情報を定期的に発信しております。以下のQRコードから、是非、お友だち追加をお願いします！



## ■ 本資料における注意事項

この資料には、2024年2月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競争状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

## ■ お問い合わせ先

白銅株式会社 経営企画課  
メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp  
ホームページ：www.hakudo.co.jp